

日本建築学界がマンガに反論 !

「週刊ビッグコミックスピリッツ」5月3日号の「美味しんぼ」というマンガのなかで、「日本の家屋で木材を、それも国産の木材を使う率は恐ろしく低い」理由は「ひとつは、日本の建築学界が1959年に木造建築を否定した」ことにある。と記載したことに対して、日本建築学界が異例の速さで7月にホームページ上で解説を掲載しました。

その中で、1959年9月26日の伊勢湾台風の甚大な被害を調査し、火災や風水害防止の為に「木造禁止」を1959年に決議した事は歴史的事実であるが、決議前後の状況と背景、その後の経緯と学会の木造建築への取り組みについて説明し、誤解を免れたいとしています。

当時の状況を理解することは大事ですが、9月末に発生した伊勢湾台風の被害調査を元に同年中に「木造禁止」を決議したと言うのは、昨今の法律制定の手续から考えても不思議ですね。それまでに準備された意見を、伊勢湾台風の被害に結び付けた説明としか受け取れないのは私だけでしょうか？ それにしても、今回の反論も早いですね。昨年室内のアセトアルデヒド等の基準を建築学会アカデミックスタンダード小委員会が発表したのに対し、全木連が抗議した際はなかなか回答が無く最終的には原案通りに固執しました。今回のマンガに対する反応を見ていると、業界が騒ぐより、マンガで伝統工法の良さをPRして貰う方がよさそうですね。

(日経BP社 ケンプラッツへ寄せられた様々な意見が下記で見れます。)

<http://kenplatz.co.jp/article/building/news/20100817/542859/>

【情報】

* 「かごしまものづくり企業経営者塾」が開催されます

鹿児島県では県内で活躍している5人の経営者と、県外から著名な5名の講師を招いて5回の「かごしまものづくり経営者塾」を開催します。

県外講師とテーマは以下のとおりです。

第1回 「やってやれないことはない！～世界一の職人に聞くものづくり企業の経営哲学～」

9月22日 岡野工業(株) 岡野雅行氏

第2回 「現場が伝える『ものづくり』の未来」

10月6日 一橋大学 関 満博氏

第3回 「地産地消から地産全消へ～地域を活かすものづくり～」

10月22日 旭食品(株) 竹内克之氏

第4回 「女子学生からハリウッド女優まで～白鳳堂、世界に通じるものづくり」

11月9日 (株)白鳳堂 はしごだか本光氏

第5回 「未来をデザイン～地域を創るものづくり～」

11月24日 エバーサルデザイン総合研究所 赤池 学氏

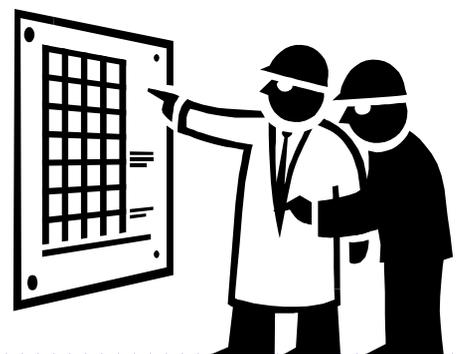
問合せ先 NPO法人ネチャリング・プロジェクト TEL099-219-5739

【定休日】

9月は4, 5, 11, 12, 18, 19, 23, 26日となります

10月は3, 9, 10, 16, 17, 23, 24, 31日となります

宜しくお願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)